



「古 有田への誘い」は、先人陶工を祭る記念碑、先人たちが歩いた生活道路、歴史民俗資料館、唐臼小屋をはじめ、現存する窯跡から出土した陶片やデザインの変遷などを紹介する有田焼参考館、有田焼出土文化財管理センター周辺を一体的に整備し、それらを都市公園白磁ヶ丘クラフトパークで補完している。

また、併せて県道と町道の整備も進め、窯跡から出土した磁片を路面に貼り、歩きながら有田焼の変遷を学ぶことができるように配慮している。

整備後は、有田町を代表する観光客スポットとして活用されている。

有田町は、十七世紀初頭に国内で初めて磁器の焼成に成功し、以来、長い歴史をもつ磁器づくりは基幹産業として地域の発展を支えてきた。

DATA・BOARD 58

- ①佐賀県西松浦郡有田町泉山
- ②県道部分延長：500m、幅員：12m、町道部分延長：500m、幅員：9m、公園整備面積：19.7ha
- ③道路、都市公園、歴史民俗資料館、有田焼参考館、有田焼出土文化財管理センター
- ④擬木、三間坂石、磁器タイル、銅板、植栽ほか



58

いにしえ
古「有田への誘い」
いざよな